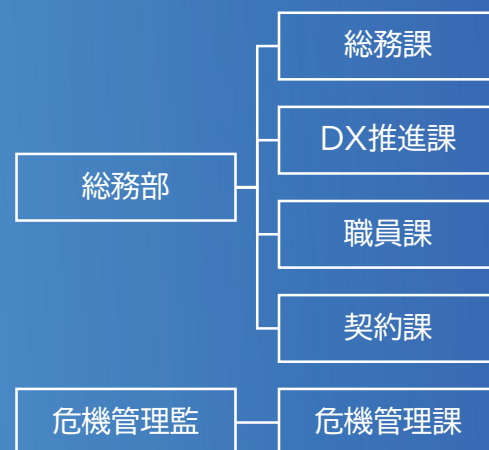


# 令和8年度 石狩市 組織運営方針

## 総務部・危機管理監

### 部の役割

- ・市役所の各部局が市民の福祉の増進を図る上で必要となる調整と支援を行うこと。
- ・市民の生命、身体、財産を災害から守るため、減災対策の充実や災害対応力を強化すること。



### 基本方針

- 市制施行 30 周年の大きな節目を迎え、記念事業や冠事業の実施を通し、まち全体での「一体感」を醸成し、本市の更なる発展と未来への継承につなげる。
- 持続可能な市政運営の実現に向けて職員が能力を最大限発揮できる組織体制を構築する。
- 自治体DX推進計画に沿った取り組みを推進するとともに、市民により利便性の高い行政サービスを提供する。
- 職員のワークライフバランスを推進し、時間外勤務の慢性化防止と、心身の健康を保つ職場環境の構築に努める。
- 入札・契約事務は、「透明性」「公平性」「競争性」を確保しつつ、公共工事の「品質を確保する」とともに「ダンピングの防止」に努め、適正に執行する。
- 危機管理課は、消防、石狩市防災まちづくり協会と連携し、市民の安全・安心に寄与する。

### 重点事業

- ① 市制施行 30 周年記念事業の実施(総務課)
- ② 窓口業務改革事業(フロントヤード/バックヤード改革)の実施(DX 推進課)
- ③ 公共サービスメッシュ運用事業の実施(DX 推進課)
- ④ 人材育成基本方針の改定(職員課)
- ⑤ 職員の健康診断受診率の向上(職員課健康管理担当)
- ⑥ 防災対策事業及び防災備蓄事業の推進(危機管理課)

## 各重点事業の詳細

### ① 市制施行 30 周年記念事業の実施(総務課)

30 年間の歩みを振り返る巡回写真展の開催や記念動画の制作、冠事業などで PR に活用する「のぼり旗」の製作などを行う。

### ② 窓口業務改革事業(フロントヤード/バックヤード改革)の実施(DX 推進課)

令和7年度の各種調査・分析結果を踏まえ、市民の利便性向上及び職員の業務効率化を図るため、フロントヤード・バックヤードの両面から窓口業務改革を推進する。書かない窓口の導入に向けた検討、申請書・案内方法の整理、関係課連携の見直し等を進め、分かりやすく持続可能な窓口体制の構築を図る。

### ③ 公共サービスメッシュ運用事業の実施(DX 推進課)

公共サービスメッシュを活用し、住基情報等に基づく対象者抽出や通知の電子化等を通じて、市民サービスの利便性向上及び職員の事務負担軽減を図る。

あわせて、今後の活用拡大を見据え、安定的な運用に必要な環境整備及び庁内運用の整理を進める。

### ④ 人材育成基本方針の改定(職員課)

目指すべき職員像や求められる能力と役割を示し、DXの進展を適切に踏まえ、必要とする知識や継承していくべき技術を整理したうえで、職員それぞれに求められる役割を果たすことができるよう、体系的な人材育成を進める。

### ⑤ 職員の健康診断受診率の向上(職員課健康管理担当)

職員の健康を維持・向上させるため、健診受診率の向上に向けた喚起を行う。

昨年度			本年度
目標	実績	達成率	目標
99%	96.5%	97.5%	99%

### ⑥ 防災対策事業及び防災備蓄事業の推進(危機管理課)

市民の防災意識の向上及び実践的な防災対応力の強化を図るため、防災教育・訓練の充実及び AR・VR を活用した体験型防災教育の推進を図る。

また、大規模災害の教訓やスフィア基準等を踏まえ、見直した計画・マニュアルに基づく防災学習や訓練を実施するとともに、冬季間を含めた避難生活を想定し、備蓄品及び即食可能な備蓄食の整備を進める。